

いよいよ長崎県内での自主上映会が解禁となります。



facebook

ほたるのかわのまもりびと

長崎セントラル劇場大ヒット御礼！次は長崎県内10,000人を目指して！

長崎公開最終日は平日にも関わらず2回目の上映もほぼ満席となり、日曜日の上映に次ぐ動員数で締めくくりました！公開週、毎日初回満席となり記録的なヒットとなりました。

常連の方からは、「もののけ姫」以来という話も！?続映のご希望を大変多くの方からいただき、惜しまれながらの公開終了。本当にありがとうございます！

これで先行試写会を含めて、なんと6000人以上の方が長崎で映画をご覧いただいたこととなります。そして、映画は次のステージへ！

長崎県内で10,000人を目指して、自主上映会を大募集いたします！

共にこの映画を広げていきましょう！30人くらいの小さな上映会から、200人や300人の規模の上映会まで、とにかく様々な場所、日程で映画が上映されることで、多くの県民の方にご覧いただきたいと思っております。

今回1週間の劇場公開で「観れなかった～」という声を本当に多数の方からお聞きしています。ご覧になれなかった方もお仲間と上映会が開催いただけます。ぜひお気軽にお問い合わせください！

9月より本格的に自主上映の受付可能となります。

■お問い合わせ先

ほたるの川のまもりびと 上映事務局 〒155-0033 東京都世田谷区代田5-8-14
(TEL 03-6379-3938、E-mail info@hotaruriver.net)まで。

■作品概要

約半世紀の間続いて来た「石木ダム」計画。川原（こうばる）の人々はこの大きな力に翻弄されながらも美しい里山と共に暮らしてきた。今、残っているのは13世帯54人あまり。虚空蔵（こくそう）岳を望む川原は今では非常に貴重になった美しい里山。四季折々に変化する自然の中でダム反対の活動は川原の人々の生活の中に溶け込んでしまった。ダムは利水・治水が目的だがその根拠はすでに専門家によって大きなクエスチョンマークを突きつけられている。この映画は単にダムに反対する映画ではなく、私たちに普通に暮らすとは、ダム計画の当事者とは誰だろうか、というような素朴な疑問を優しく差し出してくる、一緒に考えましょう、と。2018年グリーンイメー ジ国際環境映像祭、グリーンイメージ賞受賞。

■作品制作の背景

監督の山田英治は大手広告代理店で働きながらこの作品を作りました。3.11をきっかけに自らの仕事の意義を問い直し、何か社会に本来の意味で資する活動をしたいと個人でNPOを立ち上げた矢先に、この映画の現地を訪れ、映画化を決意。2年間、現地に通って本作を完成。